

## 第12回 がんばっています!!

市内の団体や個人を紹介します。

### 新しい漁師スタイル模索

小友町の三浦尚子さん（32歳）は市内で水産業事業者を手伝いながら、自身でワカメを使ったシャンプーの開発を手掛け、養殖業も営んでいます。神奈川県出身で東日本大震災をきっかけに陸前高田と巡り合い、今では地域に溶け込みながら新しい漁師スタイルを模索しています。「海」を軸に生きる三浦さんから話を聞きました。

（担当・木村聡、伊勢純）

### 小友町 <sup>みうら</sup>三浦 <sup>ひさこ</sup>尚子さん

大学生だった平成25年に傾聴ボランティアとして初めて陸前高田を訪れました。もっと関わりたい、もっと過ごしてみたい、という気持ちで居着いてしまったという感覚です。

水産業に従事する方々のお手伝いをした時、大変喜んでもらったことから漁師に興味を持つようになりました。漁業は家族経営といわれます。私は単身者ですが、異業種の知人がワカメ作業を手伝ってくれた時に本当に嬉しく感謝し



たことから、「これが新しい漁業の形なのかもしれない」と思いました。

今後は、自分の事業を大きくするというより、一次産業に取り組みたいと思っている他の人の手助けもしていきたい。繁忙期をずらせば、互いに助け合いながら小さな単位でも生産できる。私が助けてもらったからそう思うのかもしれませんが、学生の間から人の手助けをすることがずっと好きなんです。



陸前高田市議会議員一同

公職選挙法により、  
年賀状などを出すことは  
できませんので  
ご理解願います。

あけまして  
おめでとーございませう

同	同	同	同	同	委員	小委員長
佐々木	伊勢	伊藤	小澤	大和田	木村	蒲生
一義	純	勇一	睦子	加代子	聡	昌也

編集委員

あとがき

新年、おめでとーございませう。

東日本大震災から間もなく12年となります。まちなかを見渡しますと、昨年11月に市立博物館が開館するなど、子どもからお年寄りまでが集い、周囲に賑わいをもたらしています。博物館の復旧工事を終えたことにより、市内の公共施設整備が完了したことになります。本市の復旧事業に携わった全ての方から感謝申し上げます。

今後は、昨秋行った「議会と語る会」などでいただいた意見や要望を参考に、持続可能なまちづくりに向けて真摯に取り組んでいきたいと思っています。

令和5年こそ新型コロナウイルス感染症から解放されましよう、また、市民の皆さまにとつて、明るく実り多い年となりますよう、議員一同祈念申し上げます、あとがきとさせていただきます。

（小澤睦子）